

お互いを大切に思う。差別のない明るい未来へ。 いっしょに考えよう 部落差別（同和問題）

部落差別（同和問題）って何？

同和地区、被差別部落などと呼ばれる特定の地域の出身であることや、そこに住んでいることを理由に、さまざまな差別を受けるという問題です。

結婚や就職に関する偏見、根拠のないうわさ、インターネット上での差別的書き込みなど、今なお課題は残っています。このような差別は、憲法で定めている基本的人権の尊重に反することで、重大な人権侵害です。



◀くわしく
はこちら



8月は佐賀県同和

部落差別解消推進法をご存じですか？

この法律は、平成28（2016）年に施行され、日本国憲法が保障する基本的人権の考え方に基づき、部落差別のない社会の実現をめざしたものです。法律が制定された背景には、差別が今なお存在している現実があります。部落差別（同和問題）は、人の尊厳を傷つける重大な人権問題です。差別をなくしていくためには、一人ひとりの理解と協力が大きな力となります。

差別をなくしていくためにはどうすればいいの？



差別をなくす第一歩は、正しく知ることです。同和問題について、誤った情報や偏見に捉われず、事実を正しく理解することが大切です。

「自分には関係ない」と思わず、身近な問題として関心を持ちましょう。知らないから不安になり、わからないからうわさを信じてしまいます。差別の多くは、思い込みや偏見から生まれます。

一人ひとりが正しく学び、考え、差別をなくすために行動することが、明るい社会につながります。



◀くわしく
はこちら

